



みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.69

令和5年(2023年)

5月1日発行

はまた 議会だより

主な記事

- 初！委員会代表質問..... 11
- 市民対談（卓球の世界大会に初挑戦！）..... 12・13
- 委員会活動レポート..... 14・15



3月定例会議

今回はこれがポイント!

令和5年度一般会計予算373億9千万円を慎重審議し可決!

3月定例会議では、まず市長から令和5年度の施政方針が示されました。そして浜田市議会で導入後初めてとなる常任委員会による代表質問があり、福祉環境委員会と産業建設委員会からそれぞれの検討課題についての質問がありました。議案の中で特に注目されたのは、まちなか交流プラザについてです。設置及び運営の予算議案と制定する条例議案が上程され、設置目的や委託先の中間支援組織の役割、運営方法などについて活発な質疑が行われました。

予算決算委員会では、716事業からなる一般会計をはじめ、国民健康保険などの特別会計や上下水道事業などの公営企業会計の予算を審査しました。以下に議会の着眼点とともに注目した10の事業を紹介します。



▶ 若者定住

若者支援 ファンド事業

事業費:4,474万円

令和4年度に実施した「地域の日」で若者世代からの提案を基にさまざまな支援事業をパッケージ化し、若者（39歳以下）の生活や起業などへの上乗せ支援することによって「若者が暮らしたいまちづくり」につなげる取組。

- U・Iターン漁業研修終了者 30万円
- 自己資金の少ない就農者 30万円
- 地域おこし協力隊 上限50万円 など

着眼点

- ・若者世代の定住及び人口社会減の緩和に期待。
- ・周知不足とならないよう注視。



▶ にぎわい創出

(仮称)まちなか 交流プラザ 設置・運営事業

事業費:2,092万円
(設置:1,000万円 運営1,092万円)

旧福屋浜田店1階の一部を「若者から高齢者までの世代を超えた多様な市民が交流する場」としてITワークスペースや交流スペース、セミナールームなどを整備して、協働のまちづくり推進及び駅周辺の活性化と若者の居場所づくりとして整備。

着眼点

- ・地域活動団体の連携・交流活動の場としての活用を期待。
- ・運営に携わる中間支援組織と市の連携がポイント。



▶ 防災

周布川左岸地区 防災拠点 整備事業

事業費:1億2,232万円

周布川左岸地区の交通アクセスの良い場所に避難所、防災倉庫、備蓄倉庫を併設する防災拠点を整備することにより、周布川左岸地区の住民の安全を確保するとともに水防活動の迅速かつ安全な体制を図る。

着眼点

- ・左岸地区の住民は増水した川を渡って避難所に行く必要があった。整備によってより安全な避難が可能となる。
- ・平常時は地元町内会で管理運営が行われるため日常的に活用可能。



▶ 子育て支援

高校生通学 定期券助成事業

事業費:504万円

「地域の日」における地域住民からの声を踏まえ、補助対象者と補助金額を拡充。補助対象者は市内の高等学校への通学者に加え、県内の高等学校で市内の高等学校にない学科へ通学する高校生の保護者へと拡充。補助金額は、JRのみの場合は1カ月の定期券代からおおむね5千円を差し引いた額へ。

着眼点

- ・市外への通学者にも対象が拡大することで、子育て世代の経済的負担の軽減と公共交通機関の利用促進が図られることに期待。



▶子育て

保育所等ICT化 推進事業

事業費:2,240万円

保育士などの業務負担の軽減を図るとともに子どもの安全対策を強化するため、登降園管理システムや保護者との連絡システム、GPSを活用した見守りサービスなどのICT化に要する経費を国と市で補助する。

着眼点

- ・園児に対する安全対策向上や保育士の業務負担軽減に期待。
- ・保育士配置基準の見直しも必要では。
- ・統一的な導入ではなく各園での契約となるが、多くの園で導入できるよう検討を。



▶高齢者福祉

介護予防・日常生活 支援総合事業

事業費:1,781万円

高齢化の進展により単身高齢者、認知症高齢者などのさらなる増加が予想される。高齢者が要介護状態にならないよう、地域の支え合いの体制づくりを推進し、地域の実情に応じた生活支援・介護予防サービスなどの充実を図る。

着眼点

- ・社会福祉協議会に委託していた介護予防普及啓発事業を市が直営するに当たり、当該事業の評価や効果の確認を。
- ・直営とすることで事業費が増額していないか、ふくっぴーサロンの今後などを注視。



▶水産振興

浜田地域沖合 底曳網漁業構造 改革推進事業

事業費:9,364万円

地元沖合底曳網漁船の存続に向けて、収益性の高い操業・生産体制への転換による漁業経営の安定化を図るため、漁業経営体が行う漁船の更新について、県と連携して支援を行う。

着眼点

- ・かつては30船団を超え、現在は9船団。船の老朽化、作業員の高齢化、燃料の高騰などにより存続の危機にある。
- ・多くの関連産業に影響を及ぼすため早急な対策が求められる。今後の水揚げ確保、漁業就労者の雇用維持につながることに期待。



▶医療対策

医師確保 対策事業

事業費:128万円

地域医療体制確保のため総合診療医の育成を行うため、浜田の総合診療医紹介パンフレットの作成や自主的な地域医療実習などに参加する医学生などに対する補助を行う。

着眼点

- ・総合診療医の確保は重要なことであり、この事業への期待は大きい。
- ・パンフレット作成に加え、定住サイト「はまだぐらし」の効果的な活用も検討し、しっかりとした周知を。



▶観光交流

石見神楽 振興事業

事業費:665万円

石見神楽は石見地方に古くから伝わる伝統芸能。神楽面や衣装など、石見のみならず県内外の神楽を支える産業として根付いている。重要な観光資源である石見神楽のPRを通じて交流人口の拡大を目指す。

着眼点

- ・コロナ禍での公演縮小という厳しい状況の中、神楽社中や保存会などに対し運営支援が求められる。
- ・神楽を支える浜田が生んだ「神楽産業」の技術を保存するとともに、後継者育成にも期待。



▶都市整備

浜田駅周辺 整備事業

事業費:835万円

三桜酒造跡地について経済団体や地元商店街による検討組織を設置し、市民や観光客などでにぎわう公共利用に関する調査・検討を行い、その検討結果を今後の整備計画策定につなげる。市に活用を検討してほしいという地権者からの申し出や、複数の団体・企業からの公共利用の要望が背景にあり、事業化。

着眼点

- ・事業の目的を市として明確にした上で、具体的な検討を進めるべき。
- ・駅周辺エリア一帯のにぎわい創出に期待。

議案等の賛否の公開

2月臨時会議及び3月定例会議で賛否が分かれた議案はありませんでした。各議員の賛否や反対理由、請願・陳情審査結果、討論などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和5年2月 ●臨時会議 ● 市長提出議案1件 議会提出議案1件

令和5年3月 ●定例会議 ● 市長提出議案31件 議会提出議案1件

請願・陳情について審査しました 請願1件 陳情6件

請願の内容	提出者	結果
浜田市原井幼稚園跡地払い下げに関する請願について	社会福祉法人浜田ひかり保育所 理事長 竹山 勝彦 浜田市原町	継続審査



地域井戸端会のお知らせ

新型コロナウイルス禍で令和2年から開催を見送っておりました地域井戸端会を再開することとしました。今回は開催会場を全28会場に増やし、3つの常任委員会（総務文教・福祉環境・産業建設）から委員を1人ずつ派遣します。

各委員会が皆さんにお伺いしたいテーマを以下のように設けました。また、それにかかわらず、ご意見・ご要望をお伺いする時間も設けておりますので、暮らしの中での気づきやご意見をお聞かせください。

頂いた意見はそれぞれの委員会の活動に生かします。自由意見として頂いたものは、所管の委員会へ振り分けて各委員会で協議します。協議した経過や結果は実施会場に掲示する予定です。たくさんのご参加をお待ちしております。

伺いたいテーマ

1 子どもたちと地域の関わりについて

2 健康について

3 農業・林業・漁業の問題点と希望について

会場名	実施日 (令和5年)	時間 (2時間)
浜田まちづくりセンター	5月17日(水)	18:30～
国府まちづくりセンター	5月17日(水)	18:30～
美川まちづくりセンター	5月19日(金)	17:30～
長浜まちづくりセンター	5月19日(金)	18:30～
周布まちづくりセンター	5月19日(金)	18:30～
石見まちづくりセンター	5月20日(土)	18:00～
大麻まちづくりセンター	5月22日(月)	18:30～
子育て世代包括支援センター(すくすく)	5月25日(木)	17:00～
二反田団地集会所	5月26日(金)	18:30～
小国まちづくりセンター	5月19日(金)	18:30～
美又まちづくりセンター	5月22日(月)	18:30～
波佐まちづくりセンター	5月24日(水)	18:30～
久佐まちづくりセンター	5月26日(金)	18:30～
今福まちづくりセンター	5月31日(水)	18:00～
雲城まちづくりセンター	6月3日(土)	17:30～

会場名	実施日 (令和5年)	時間 (2時間)
和田まちづくりセンター	5月17日(水)	18:30～
今市まちづくりセンター	5月23日(火)	18:30～
木田まちづくりセンター	5月27日(土)	18:30～
都川まちづくりセンター	5月28日(日)	10:00～
市木まちづくりセンター	5月30日(火)	18:30～
安城まちづくりセンター	5月25日(木)	18:30～
杵束まちづくりセンター	5月27日(土)	18:00～
井野まちづくりセンター	5月13日(土)	17:30～
黒沢まちづくりセンター	5月19日(金)	18:30～
三隅まちづくりセンター	5月23日(火)	18:30～
三保まちづくりセンター	5月24日(水)	18:30～
白砂まちづくりセンター	5月26日(金)	18:30～
岡見まちづくりセンター	5月29日(月)	18:30～

※各会場の出席議員は、市議会ホームページや最寄りのまちづくりセンターへの掲示などでお知らせします。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

20人が一般質問



こちらから動画をご覧ください。



3 すべての人に健康と福祉を



すべての人に健康と福祉を

世代別に分かり易い情報提供を

Q ホームページがリニューアルされ、以前よりも使いやすくなった。より分かりやすく情報提供するために子育て支援ガイドのように、若者世代や中年期、特に高齢者向けのガイドがあると支援が届きやすいと考えるが取組めないか。

A 市民に分かりやすく情報提供するためには、世代別にターゲットを絞った発信は有効である。必要な人に必要な情報が届くよう工夫し、より効果的な情報発信に努める。

Q デジタルと紙媒体の両方が必要と考えるが。

A 現在、高齢者お役立ち情報「ちよこプラ」を電子媒体で発信しているが、紙媒体の要望もあり、より分かりやすくまとめるよう検討している。



柳楽 真智子

弱者といわれる子どもと高齢者の安心は？

Q 安心して預けられる保育環境充実のためにも、基準以上の人員配置をすることが対策の一つとして考えられるが対応は？

A ご指摘のとおりであるものの本来は国が主導して取組むべきものと考えている。本市においては、保育支援員配置や使途を限定しない運営費の補助などの支援をしている。

Q 地域包括支援センターの民間委託以降の職員の現状は？

A 人員配置は人数・職種ともに充足している。

Q 利用状況については？

A サービス低下につながるような努力を。

A 介護認定代行・ケアプラン等は従来通りだが、相談が減少している。これは窓口が変わったからだと考える。



足立 豪

産婦人科が少ない現状の対策を！

Q 現在当局において産婦人科の病院が少なく、受診に大変な時間がかかっている現状をどう存じか？

A 病院が少なく、待ち時間が長くなっていることは認識している。

Q 病院や医師を増やすことは容易ではない。しかし、産婦人科に係る疾患で悩んでいる女性のことを考えてほしい。経済産業省で取組んでいるフェムテック事業(女性の健康課題をテクノロジーで解決するサービスなど)にオンライン相談サービスがある。当市と同じような状況の自治体で国の補助金を受け、導入が進んでいる。女性が安心して暮らせるよう検討できないか。

A まずは国県や市の相談体制を周知していく。



村武 まゆみ



すべての人に健康と福祉を

手出しが要らない市民生活支援を



佐々木 豊治

- Q** 電気料金値上げや物価高騰に対する市民生活支援として、多くの自治体が取組んでいる水道料金や学校給食費などの減額や免除など、手出しが要らない支援が必要と思うがどうか。
- A** 市民生活は厳しいと感じているが、限られた財源を何に使うかを考え、「はまだ応援チケット」に取組んできた。今後、第3弾も取組んでいく。
- Q** 応援チケットのような元手がいる支援ではなく、給付や減免のような直接の支援の声を多く伺っている。ぜひ検討すべきと思うがどうか。
- A** 水道料金減免では金額も少ないため、市民生活支援、事業者支援もある応援チケットの方が効果的と考えている。



質の高い教育をみんなに

郷土資料館の資料のデータベース化は？



田畑 敬二

- Q** 郷土資料館建て替え整備方針の具体的な策定については？
- A** 施政方針でも申し上げたように、郷土資料館の現状を市民の方に理解をさせていただくなどに努める。
- Q** 浜田城資料館及び郷土資料館の全資料をデジタル化して、市内の各施設で放映する考えはないか？
- A** 歴史資料のデジタル化と公開については、資料映像の保存や、浜田を知る有効な手法と考えている。現在も資料の画像データは収集している。指定文化財などの画像は、浜田市のホームページで公開している。資料館には相当の資料があり、分類や重複するものの整理が必要である。

県立の歴史関連施設は出雲4、石見はゼロ



大谷 学

- Q** 自然系県立施設は出雲「ゴビウス」、大田「サヒメル」、浜田「アクアス」と偏在なし。しかし、歴史系は松江「八雲立つ風土記の丘」、大社「古代出雲歴史博物館」などあるが県西部はゼロである。均衡ある県土の発展などの観点から誘致の検討は？
- A** ハードルは高い。今後の深まりを探りたい。
- Q** 約41億円を投じて令和4年に開館した対馬博物館の事業体は長崎県と対馬市で3対7の案分と聞く。検討が開始される仮称石見神楽伝承館も県との複合施設とする発想はないか？
- A** 県営施設はあったらいいとは思いますが簡単ではない。まずは検討を始める「伝承館」の論議の中で市の考え方を整理したい。

美川小学校新築事業はどうなるの？



牛尾 昭

- Q** 保護者ニーズの取り入れ状況は。
- A** 令和5年度から基本設計を行い、令和8年度に校舎が完成する。児童クラブや防災機能を整備する。
- Q** 防災・減災対策は。
- A** 屋内運動場を高床にし、避難場所にする。
- Q** どのような新設校か。
- A** 幼稚園や第四中学校がなくなる中、地域コミュニティの中核的な役割を担う小学校となる。
- Q** 以前から要望している牛谷橋から正門までの県道拡幅工事は地権者の都合で頓挫したが、通学路としては危険である。再度、取組んでみてはどうか。
- A** あれから数十年経過しており、新設校の建設なので、県に要望したい。



質の高い教育をみんなに

校則の見直しに生徒が参加する仕組みが大切

Q 生徒が違和感を持つ校則を教員や保護者らとの対話によって見直す活動が広がっている。ブラック校則といわれる人権や健康などを脅かす恐れのある不合理な校則の存在も指摘されている。子どもの人権や多様性の観点から校則の点検や見直しの現状について問う。

A 校則の見直しについては、令和4年12月に改訂された「生徒指導提要」で、「児童生徒や保護者等からの意見を聴取し定めていくことが望ましい」、「児童会・生徒会や保護者会の場において、校則について確認、議論する機会を設ける」ことが例として示された。児童生徒や保護者の声を校則の見直しに反映できる仕組みを検討していきたい。



小川 稔宏



産業と技術革新の基盤をつくろう

楽天農業との連携協定とは？

Q 楽天農業、島根県、J A、島根県西部9市町が「有機野菜の産地づくりに関する連携協定」を締結したが、目的を問う。

A 楽天農業は、新たな農業者を育成し、農家という起業家をつくることをミッションとして掲げている。有機農業者が継続的に地域に輩出され、担い手不足の解消や有機農地の活用が進み、耕作放棄地対策につながる。

Q 農業を開始する時期、場所、面積、どのような野菜を扱うのか問う。

A 令和5年から開始され、金城で農地を10畝借りる予定。2年間の転換期間が必要となり、その期間はサツマイモの作付けなど管理し、その後はブロッコリーの作付け予定となる。



串崎 利行



人や国の不平等をなくそう

市民のために入札の公正・透明・客観性を

Q 随意契約の一手法であるプロポーザル方式の審査について、審査会を公開すべきではないか？

A 審査会の会議は、事業者の評価や提案を審査する場であり、非公開としている。

Q 提案がどのように比較されるかを公開することが、公正性・透明性・客観性のために大切であると考えるがいかがか？

A すべてを公開することは、積極的な参加との兼ね合いが難しい部分であり、他の自治体でもいろいろ研究されている。

Q 不透明と考える現在の方式を、市民のためになる最少の経費で最大の効果が生み出せるよう改定すべきではないか？

A これまでも課題であり、考え取組んでいく。



川上 幾雄



住み続けられるまちづくりを

デジタル技術の活用で市民福祉の向上を

Q 地域課題・行政課題の解決にデジタル技術を活用することを政策の中にどう位置付けているか。

A 地域情報化推進計画のつとめて取組む。

Q 山口県がデジタル技術による課題解決策を公募する事業を実施中。周南市では道路メンテナンスにおけるシステム導入により、修繕報告が簡単かつオンタイムにできるなどの環境整備をされた。当市でも修繕要望は今後増加が予測されるが、対応人員は減少が見込まれる。同様のシステムの導入を検討してはどうか。

A 現在は今の仕組みで対応できているが、今後は検討が必要。

Q 山口県同様の公募事業を実施してはどうか。

A 状況調査し、検討する。



三浦 大紀

住み続けられるまちづくりを

中山間地域の交通手段確保は？



永見 利久

Q あいのりタクシー運行、実施団体の状況は。
A 事業開始当初、10団体程度の目標としていたが、令和4年度は14団体取組まれている。
Q 令和3年度の決算での執行率は14.2%。令和4年度の見込みと来年度予算方針は。
A 令和4年度の執行見込額は175万円で、執行率は73%。令和5年度は実施状況を踏まえ、1団体の年間補助上限額を40万円から50万円に拡充し、予算総額5千万円に増額を考えている。
Q 令和6年度以降の公共交通再編の考えは。
A 生活路線バスや予約型乗合タクシーの利用状況、地域のニーズに合った有効的な移動手段を確保する見直しを行う。

歴史的建物の価値の認識と魅力の創造を！



三桜酒造の酒蔵



西田 清久

Q 三桜酒造跡地の活用について、歴史と風情が残る建物の一部でも残す考えはなかったのか。
A 耐震基準に合致せず老朽化も進行。改修には多額の費用を要する。
Q 200年続いた造り酒屋の酒蔵の魅力は、浜田にしかない醸し出された魅力だ。
A 同感だが、長期維持保存には課題が多く、酒蔵が敷地の真ん中で活用も制限される。移築になれば数億円余分にかかる。

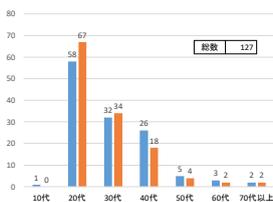
中山間地域の振興施策の充実を



上野 茂

Q 有機農業を全市に拡大していく今後の取組を問う。
A 浜田市では、有機の産地づくりを目指し、有機米と有機野菜の生産拡大に楽農農業と連携し、供給網の最適化を進め、市全体に取組を広げ、地元消費拡大と学校給食などへ積極的に導入する。
Q 平成25年度から事業開始した重要な生活道、市道戸地線。改良済340戸、今年度の施工予定は100戸。このままだと残り940戸が10年近くかかる。早期の開通に向け優先的に取組む考えはないのか問う。
A 改良済は33%。予算に限りがあり思うように進捗していない。他事業の進捗も見ながら優先的に事業を進める。

成婚率の高い時期に若者交流支援を！



令和3年度
浜田市結婚新生活
支援事業受給者内訳

Q 少子化対策につながる結婚支援の方策として「浜田結婚新生活支援事業」がある。事業の実績グラフでは29歳までが成婚率の高い状況で、それ以降の結婚環境は厳しい状況に推移する。意識の醸成と同時に20代後半までのところにおいて、出会いが少なくとする若者への交流の場の創出支援が必要と思うが？
A これまで婚活イベントなどに取組んできている。視点を変えて、この時期の交流の場の創出を図っていききたい。



岡本 正友

住み続けられるまちづくりを

人口減対策は急務 新しい施策に手を尽くせ



芦谷 英夫

- Q** 浜田市は人口減少率が高い。新しい施策を打ち出すことは。
- A** 若者支援ファンドによる補助制度を新設し拡充する。地域おこし協力隊、若手音楽家の移住促進も進めたい。
- Q** 三隅発電所従業員の定住を進めることができないか。
- A** 従業員350人が働いており、若い人の住宅取得やリフォームに対する直接的な支援を行う。会社側とも協力してPRに努め、活用を進めたい。
- Q** 専修学校の入学者を増やし、定住を進めることは。
- A** 学生を確保し定住を進めるため、ビューティールレージと准看護学校の入学者への入学金免除に對し、補助したい。

防災DXで被災情報の管理と共有を



村木 勝也

- Q** 市民が被災情報を電話する代わりに、スマホなどで被災情報の写真(位置情報や時間)を送信するシステムの検討などはないか。このことは、「自治体DXの推進」にもつながり、この情報が地図上に載り、本庁や支所、さらには関係機関で共有することができるとは。
- A** 被災情報を収集するにあたっては、システムの導入により、より効率的に収集できる可能性もあると考えるが、撮影者の安全性も考慮した上で、検討したい。
- (その他の質問項目)
- ・ 平常時の防災備蓄、災害時応援協定の必要性
 - ・ 郵便局を生かした災害物資の備蓄
 - ・ 防災にも関わるフレイル予防

文化が薫るまち「浜田」を目指せ!



川神 裕司

- Q** 施政方針において、(仮称)石見神楽伝承館に触れているが、基本構想は？
- A** 石見神楽の本場・浜田の国内外への発信に必要な施設。六調子から八調子を含めた市全体の神楽の歴史や神楽面の変遷、蛇胴、衣装の展示、上演舞台も含め検討したい。
- Q** 世界こども美術館創作活動館、石正美術館などを活用した芸術文化活動を一層推進すべきでは？
- A** 世界こども美術館でのブータン美術教育支援交流や石正美術館が開催する日本画大賞展を通じて、文化交流を推進し地域の芸術文化向上を目指す。
- (その他の質問項目)
- ・ 海上自衛隊哨戒艦駐留基地誘致活動の方向性
 - ・ 学校給食安全確保のための危機管理

石見神楽を創り出したまち浜田の振興策は!



布施 賢司

- Q** 「石見神楽振興議員連盟」を設立した。議連とどう連携していくのか。
- A** 意見交換をしながら進めていきたい。
- Q** 社中などにこれまで以上の財政支援が必要。
- A** 公演機会の拡大や神楽産業の体験ツアーなども検討し、さまざまな形で支援していきたい。
- Q** 「ふるさと寄附」の寄附者の思いは形になっているのか。
- A** 保存・継承支援事業や認知度向上に向けた事業などに活用している。
- Q** (仮称)石見神楽伝承館設置検討に着手する構想は。
- A** 本場として、歴史・衣裳・面・蛇胴などを展示し、上演もできる施設が必要で、関係者の意見も聞いて検討していく。

持続可能な漁業の構築を目指せ

Q 令和5年度施政方針に示された漁船の建造、養殖事業の可能性の調査研究に加え、浜田の漁業を持続的に進めるよう水産資源の保護や有効利用も推進すべきではないか？

A 水揚げ量の確保と増大が急務と考える。当面の目標として沖合底びき、巻き網船団、定置網漁船など地元漁船の確保と維持していくこと、将来を見据えた養殖事業の可能性についての調査研究に力を入れていく。資源の保護や有効利用については国の水産多面的機能発揮事業を使い、ナマコ・ウニ・アワビの放流と磯焼け対策に取組む。未利用魚やアラなどを使った機能性食品の開発に携わるなど、資源の有効利用に取組んでいる。



沖田 真治

前号のアンケートへのご協力、ありがとうございます。今回はVol.68に寄せられたご意見の回答を掲載します。



自由意見



家計を打撃するガソリン代。なぜ浜田市は同じ島根県内の益田市、出雲市に比べ値段が高いのか説明してください。同じ値段にできるように浜田市も頑張ってください。もしくは市が助成してください。

地域間格差はいかんともし難いところがありますが、なぜ格差が生じるのか調査を行います。
(産業建設委員会)



市議の個人一般質問のページは質問に対し、回答した人は誰か、小さ目の文字で良いので記してほしい。(例：市長、〇〇部長、教育長)

以前は答弁者の役職を掲載していましたが、答弁は全て市の考えであるという認識のもと、掲載できる文字数も限られていることから、当面は現在の表記を採用させていただければと思います。
(議会広報広聴委員会)

全てのご意見・ご要望と回答は市議会ホームページで公開しています。



ぎかいポストを設置します

これまで本紙面を通じて行っていました読者アンケートですが、各まちづくりセンターに、意見・要望用紙を「ぎかいポスト」とともに常時設置することに伴い、今号から取りやめることとしました。これまで同様に、頂いたご意見などは紙面にてご報告するとともに、所管委員会にて対応させていただきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

ウェブからも受け付けております。



はまだ議会だより読者アンケート

初！委員会 代表質問

【委員会代表質問とは】

浜田市議会において令和4年6月から導入しました。個人一般質問と違い、委員会を代表する議員が委員会の総意として質問します。3つの常任委員会の専門性を生かし、委員会の行政視察や調査・研究を踏まえた、多角的な視点からの質問ができます。より厚みのある政策提案につながることに期待しています。

就労を見据えた積極的な障がい者支援を！

足立 豪

福祉環境委員会



障がい者就労支援拠点の一つ
(総社市)

Q 福祉環境委員会では、就労支援を含めた障がい者支援について提言ができるよう質問する。

A 障がい者の人数は増加傾向にあるが、現状の生産年齢人口は？

A 浜田市の障がい者は増加傾向にあり、18歳～64歳は全体の35%で、43～49歳は43.4%、50～59歳は43.4%、60～69歳は43.4%、70歳以上は43.4%である。

Q 仮に千人の方が就労して月額15万円の所得を得る場合の市の税収は？

A 合計所得金額が135万円以下となるため、非課税となり、市・県民税は課税されず税収はない。

Q 一般就労と福祉就労について浜田市の実態は？

A A型は5事業所で、B型は9事業所である。障がい者で納税者数は399名である。

Q 障がい者に対する就労支援について、現在の浜田市の考えは？

A 就労機会の確保やそのための支援は必要。障がい者雇用優良事業所を表彰するなど、障がい者雇用を推進する取組を実施している。

Q 岡山県総社市を視察し、市長から福祉政策に対する熱い思いを伺った。委員会として障がい者への就労支援が税収増にもつながり、地域住民の生活基盤が安定し、人口減に歯止めがかかるのではと考える。障がい者の視点に立った新しい市の取組が必要では？

A 個性豊かな未来ある子どもたちのためにも、引き続き積極的な取組を求めたい。

A 市がハローワークのような職業あっせんはできないが、働く場の確保と環境整備が課題。市内企業に対する周知やハローワークとの連携・情報共有に努める。

「道の駅」 ゆうひパーク浜田の今後

川上 幾雄

産業建設委員会



視察したうまかつの里
(木更津市)

Q 産業建設委員会では、かねてより「道の駅」ゆうひパーク浜田の経営状況に注目していた。この施設の成り立ちは？

A 昭和63年から検討に入り、第三セクターでの事業化方針を受け、平成4年に全国でも数カ所しかない「民設民営の道の駅」として開設された。

Q これまでも、経営者による経営合理化や浜田市の援助策があった。結果はどうであったのか？

A 度重なるアクションプラン策定や、再建計画に基づいた市からの無利子融資を受けるなどして業績の改善に臨まれたが、経営が一段と厳しくなったことから、道の駅運営継続のためにも公設民営化への移行に関する要望書が提出された。

Q 移行要望に沿ったスケジュールは？

A 財産取得の議決が得られた後、不動産登記・所有権移転を行う。その後3年間は休館などの空白期間を置かないためにも現事業者に運営させ、「新たな道の駅基本構想」の検討を進める。基本構想を基に公募要件を示し、新たな事業者の選定を行う予定としている。

Q 「新たな道の駅」に何を求めるのか？

A 石見地域のゲートウェイとして活用できるとともに、山陰道を生かした地域活性化に加え、災害時における防災拠点としての役割も考慮する。

Q 他県の道の駅を視察し、「新たな道の駅」運営には行政・農協・漁協・観光協会など関連団体との協働や環境の整備・実績のあるノウハウの活用が必要と考察した。浜田市の窓口であるならば、環境整備・継続的運営が可能な組織構築から進められたい。

A 提案を検討する。



第10回 市民対談

福祉環境委員会では「就労支援を含めた障がい者支援」をテーマに教育機関や関係機関へのヒアリングなどを行い、調査・研究活動に取り組んでいます。浜田ろう学校では自立と社会参加の実現を目指す上で、部活動（スポーツ）を通じた交流で得るものが多いとお聞きし、生徒さんたちの活躍のことを知りました。

第10回目の市民対談では、令和5年7月に台湾で開催される第1回世界ろう者ユース卓球選手権大会に日本代表として出場する佐々岡希花さんにお話を伺いました。卓球部顧問の野中健吾先生にもご協力いただきました。

（インタビュアー：沖田 真治、小川 稔宏）

卓球の世界大会に初挑戦！

浜田ろう学校中学部2年 佐々岡 希花さん

試合で勝ちたい 気持ちで練習

——卓球を始めたきっかけは？

佐々岡 卓球をしていた友達に誘われたのがきっかけです。

——練習は大変ですか？

佐々岡 ほとんど毎日練習があつて、厳しくて休みたいこともあるけど、試合で勝ちたいので頑張っています。試合で勝つと、今まで諦めないで練習してきた良かったなと思います。

ゆっくり、 はつきりと

——生活の中で困ることがありますか？

佐々岡 卓球の大会のと

きのことですが、耳の聞こえない人だけの大会ではない普通の大会のときに、マイクで「〇〇さん、試合です。」と呼び出しがあるんですけど、時々分からないときがあります。そばに友達がいたら教えてもらえるけど、一人だと不安に思うことがあります。

——みんなに知ってほしいこと、伝えたいことがありますか？

佐々岡 私は耳が聞こえないという障がいがありますが、全く聞こえないわけではないので、ゆっくり、はつきり、大きな声で話してもらえたら分かります。だから、どんどん話しかけてほしいです。



みんなで取組むから楽しい

— 学校生活は楽しいですか？

佐々岡 浜田ろう学校は生徒数が少ないけれど、少ないから学校行事もみんなと一緒に活動することができて楽しいです。「浜田ろうフェスティバル」や他の学校との交流、地域の人と協力しながら行ったサケの放流などいい思い出です。学校からきれいな海も見えるので、おすぎな場所だなあつ

て思っています。

— 卓球以外にも好きなことがありますか？

佐々岡 漫画やゲームが好きです。アニメも好きで、ブルーロックやハイキューというスポーツアニメのファンです。
— 将来の夢はありますか？
佐々岡 お菓子やケーキを作る仕事も今はいいなって思っています。

不安を乗り越えて世界の舞台へ

— 世界大会に向けて、楽しみにしていることや不安なことはありませんか？

佐々岡 初めて世界の人と試合をするので、どんなに強いんだろうなという思いがあります。泊まる場所など日本と違って寝られるかなということや、家族と遠く離れてしまうので自分一人で活動できるかなという不安

もあります。

— 抱負を聞かせてください。

佐々岡 不安もありますが、今まで練習してきたことをしっかり試合でやって、良い結果が出るよう頑張りますので、応援をよろしくお願いします。
— スキルを磨いて試合で勝ってくださいね。応援しています。



佐々岡 希花 (ささおか ののか) さん

【令和4年度の主な戦績】

- ・浜田中学校総体 ダブルス優勝
- ・浜田市総合スポーツ大会 (中学校の部) 個人優勝
- ・第1回世界ろう者ユース卓球選手権大会
日本代表第1次選考会 優勝
- ・第45回全国ろうあ者卓球選手権大会ユースの部 優勝

島根県立浜田ろう学校の紹介

聴覚に障がいのある幼児・児童・生徒に対して、幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準じる教育を提供するとともに、幼児・児童・生徒が自立と社会参加を目指し、障がいによる困難を主体的に改善・克服するための学習を行っている学校。島根県内には、松江と浜田の計2カ所に設置されており、浜田ろう学校には、現在、3歳～18歳まで9人が通っている。また、県西部の聴覚障がい教育や視覚障がい教育に関する相談・支援を行うとともに、就学前の乳幼児教育相談等を行う特別支援教育のセンター的機能も有している。



レポート



総務文教委員会

学生の声をまちづくりに

昨年10月に開催した第2回はまだ市民一日議会での発言者の中から当委員会で担当するお二人に、再度詳しく話を聞かせていただく場を設けるため、意見交換を行いました。

1人目は、まちづくりセンターを拠点とした中高生の居場所づくり活動に対する理解と支援を求めることについて、浜田市の現状と他市町の事例に関する資料を用いた説明を受けた後に、意見交換をしました。

2人目は、学生が地域活動に出向く際に交通手段に困り、地域活動や新しいことへの挑戦に大きな障壁となっている現状について改めて説明を受け、希望や活動内容などをお聞きました。

お二人との意見交換会終了後、委員間で協議し、今後の方向性を改めてお知らせすることにしました。



福祉環境委員会

障がい者の就労支援を調査研究

当委員会は、今期の取組課題を「就労支援を含めた障がい者支援について」と設定し、体系的に調査研究を行っております。

まず実態把握のため、教育現場における障がい者支援に関する意見交換を、島根県立浜田高等学校定時制課程と通信制課程、島根県立立ろう学校、そして、島根県立浜田養護学校の日常的に子どもと関わっておられる先生方から話を伺いました。また、先進事例研究として、総社市及び東大阪市を視察しました。視察の報告は3月に発行したはまだ議会だよりminiに掲載しています。

今後は、実際に就職相談をされている事業所、職業訓練をされている事業所や障がいのある方を雇用されている事業所に伺い、市民が暮らしやすい社会の実現のための提言などにつなげていきます。



産業建設委員会

ゆうひパーク浜田経営者から意見聴取

当委員会は、「道の駅」の営業状況が思わしくないことは理解していましたが、今般、道の駅運営業継続のためにも公設民営化への移行を要望されました。このような状況に至った運営・経営について代表者に委員会へ出席いただき、議案審査のために参考人招致を行いました。

代表者から、「内部・外部人材登用について説得や交渉を行ってきたが、現状の財務・借入債務の返済などを考え、批判も承知の上で引き続き経営に当たることを容認いただきたい。そして、提出した財政計画については、最近の売り上げも堅調に推移しており経常利益の上振れが期待できる。また、施設は市民が集まり活発化できるようにしたい」などと説明がありました。



委員会活動

議会改革推進特別委員会

県立大学との連携強化を検討

1月に視察した岡山県久米郡美咲町では「持続可能な議会を創造する」ことを目指し、美作大学及び美作大学短期大学部との「SDGsパートナーシップ包括協定」を締結し、大学との連携事業に取り組まれています。また、若者の声を議会運営に反映するため、学生などを委嘱する「議会アンバサダー制度」を導入し、議員との意見交換や情報発信などに取組まれています。

こうした取組を学び、浜田市議会の政策研究のために島根県立大学との連携を図るための協定について当委員会で議論を始めました。双方の目的の明確化や市が締結している連携協定との差別化、継続性の確保などの課題を整理し、事例研究と併せて検討を進めます。



島根県立大学生と行った「ギカイと語ろう」の様子

予算決算委員会

緊急性のある事案も慎重に審査

三隅地域の防災行政無線高城山中継局における直流電源装置が令和4年12月の落雷により破損したため、令和5年2月7日の臨時会議で破損した直流電源装置の修繕に必要な経費が補正予算案として上程され、審査を行いました。

高城山は急勾配であり、重量のある装置の運搬作業には多額の経費がかかるようで、運搬方法や工法について質疑がありました。提案された予算の積算には再考が必要との意見もある一方で、緊急性も配慮する必要もあるとして、最少の経費で最大の効果を生む手法の再検討などを求める附帯決議案を委員会で検討しました。本会議で提案した附帯決議案が可決されたことを受け、2月24日に行われた全員協議会で、再検討された結果の報告があり、経費が30%程度下がった新たな計画で速やかに進むこととなりました。



修繕が必要となった中継局舎

協働のまちづくり推進特別委員会

これまでの取組をまとめ、提言へ

これまで当委員会では、まちづくりセンター職員やまちづくりコーディネーターとのヒアリングや長崎県への先進地視察を実施しており、それを踏まえ、以下の3つのテーマについて、地域政策部担当課との意見交換を実施しました。

- ①公民館からまちづくりセンターになり、何が変わり、また何が変わらずにいるか
- ②協働のまちづくりのゴールとはどのような状態を求めているのか
- ③地域活動を推進する人材の育成について住民ができること、行政がすること、議会が支援すること

協働のまちづくりは防災・福祉・経済など多岐にわたっているため、引き続き研究を重ね、提言につなげていきます。

各委員会の
視察報告はこちら



はまだ議会だより
mini_19

議長からのメッセージ



こんにちは。議長の笹田卓です。

はまだ議会だよりの紙面で議長として執筆するコーナーを設けました。

今後、議長の動きや、市民の皆さまへのメッセージなどを掲載していきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大も落ち着きつつあり、地域に活気が戻ってきたと感じますが、事態の急転には注意が必要です。2月にはトルコ・シリア地震が発生しました。それを受け、浜田市議会として早期復旧の一助になればと考え、日本赤十字社を通じて義援金を送付しました。いつ、どこで災害に遭うか分からない昨今です。防災の意識を持つことの重要性を再認識しました。

浜田市議会では、「はまだ議会だよりのフルカラー化」、「はまだ市民一日議会」の開催、「委員会代表質問」の導入、「浜田市議会BCP(業務継続計画)」の策定などさまざまな活動を行ってきました。また、それぞれの委員会も市への提言や施策の提案を視野に入れ、所管事務調査を行っています。その他にも「浜田市議会こどもの権利を考える議員連盟」が令和4年10月に、「浜田市議会石見神楽振興議員連盟」が令和5年1月に設立され、議員有志による活動も活発になってきています。

議会改革も精力的に進めています。「はまだ市民一日議会」の取組が評価され、2021マニフェスト大賞の優秀躍進賞を受賞しました。さらには今年、議会の情報共有や機能強化が評価され、2022議会改革度調査総合ランキングで、県市町村含む1,416の議会の中で全国37位にランクインしました。引き続き、市民に寄り添い、信頼され、必要とされる議会となるように21人の議員が一丸となって取組みます。

6月 定例会議の 予定

- ・6月16日(金) 開会
 - ・6月19日(月)～22日(木) 一般質問
- ぜひ傍聴にお越しください。
※変更になる場合があります。

表紙について

浜田市世界子ども美術館で開催中の「つみき×パズル展」。こちらは、造形デザイナー高橋綾(たかはしりょう)さんの作品で、約4,000個のビー玉が使われています。並べたり、積み上げたりしてできる模様が面白く、子どもはもちろん、大人も楽しめます。会期は5月28日(日)まで。ぜひお出掛けください。

はまだ議会だよりの miniも 見てね



4月1日の新年度第1号はご覧いただけましたでしょうか。通算で20号となりました。市議会ホームページにウェブ版として掲載していますので、ぜひご覧ください。次号は6月1日に発行予定です。今年度も広報機能をより強化していけるよう、取組を検討しています。ご期待ください。

あとがき

ワールドベースボールクラシックの熱い戦いをテレビで観戦しました。昨年のサッカーに続き、今大会も国の代表として闘志溢れる戦いを繰り広げる若手選手の活躍は、種目や国境を越え、人々に勇気と感動を与えてくれます。

3月定例会議では令和5年度当初予算案を可決しました。若者が活躍し住みやすくなることを目的とした事業が増えました。

いつの時代も若い力が活躍することでまちは活性化されてきました。政策が効果を発揮し、浜田に暮らす若者が幅広い分野で活躍できるように応援していきたいです。

(記 沖田 真治)

編集委員

委員	三浦 大紀
副委員長	村武 まゆみ
委員	肥後 孝俊
委員	村木 勝也
委員	大谷 真治
委員	沖田 幾雄
委員	川上 裕司
委員	小野 稔宏
委員	神野 裕司

★この議案は一部は一部当り43・67円(税込)です。